

創業計画書【記入例】

[平成 〇 年 〇 月 〇 日作成]

お名前 株式会社 〇 〇

創業のきっかけ、経歴、技術、事業の特徴などのポイントを記入してください。

1 創業の動機（創業されるのは、どのような目的、動機からですか。）

・勤務時代にソフトウェアの企画開発・製作・販売・運用・管理に一貫して携わっていた経験を生かしたい。	公庫処理欄
・元勤務先などからの支援もあり、事業の見通しが立ったため。	

2 経営者の略歴等

経営者の略歴	年 月	内 容	公庫処理欄
	平成〇年〇月	〇〇工科学院卒	
	平成〇年〇月～	(株)〇〇システムズ(ソフトウェア開発業)7年勤務	
	平成〇年〇月～	〇〇テータ(株)(ソフトウェア開発業)12年勤務	
		(医療関連事業部プロジェクトリーダーを務める)(当時の月給40万円)	
	平成〇年〇月	退職(退職金200万円)	
過去の事業経験	現在	創業準備中	
	取得資格	☒ 事業を運営していたことはない。	
		☐ 事業を運営していたことがあり、現在もその事業を続けている。	
		☐ 事業を運営していたことがあるが、既にその事業をやめている。 (⇒やめた時期： 年 月)	
セールスポイント	取得資格	☐ 特になし ☒ 有 (ソフトウェア開発技術者資格(平成〇年〇月))	

3 取扱商品・サービス

取扱商品のサービス内容	① 介護・医療施設用の顧客・財務管理システム開発 (売上シェア 80 %)	公庫処理欄
	300万円～1,000万円/件、開発期間3ヵ月～半年ほど	
	② 医療関連機器のファームウェア開発 (売上シェア 20 %)	
	〇〇テータ(株)からの業務請負、平成〇年〇月〇日契約締結済	
セールスポイント	③ (売上シェア %)	
	介護・医療関連のシステム開発の知識を生かし、システム開発の提供だけでなく、運用に関するコンサルティングも行う。	

4 取引先・取引関係等

	取引先名 (所在地等)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件	公庫処理欄
販売先	〇〇テータ(株)(〇〇区〇〇) (元勤務先)	70 %	100 %	末日 翌月末 日回収	
	医療法人〇〇会(〇〇区〇〇) (元勤務先の販売先)	30 %	100 %	末日 翌月末 日回収	
	ほか 社	%	%		
仕入先	()	%	%		
	()	%	%	日 日支払	
	ほか 社	%	%		
外注先	〇〇ソフト(株)(〇〇区〇〇) (元勤務先の外注先)	50 %	100 %	末日 翌月末 日支払	
	(株)△△テータ(〇〇区〇〇) 社 (元勤務先の外注先)	50 %	100 %	末日 翌月末 日支払	
人件費の支払		末日	翌月25	日支払 (ボーナスの支給月	6 月、 12 月)

☆ この書類は、ご面談にかかる時間を短縮するために利用させていただきます。
☆ なお、本書類はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。
☆ お手数ですが、可能な範囲でご記入いただき、借入申込書に添えてご提出ください。
☆ この書類に代えて、お客さまご自身が作成された計画書をご提出いただいても結構です。

5 従業員

常勤役員の数 (法人の方のみ)	2 人	従業員数 (うち家族)	1 人 (0 人)	パート・アルバイト	0 人
--------------------	-----	----------------	---------------	-----------	-----

6 お借入の状況（法人の場合、代表者の方のお借入れ（事業資金を除きます。））

お借入先名	お使いみち	お借入残高	年間返済額
〇〇銀行△△支店	☒ 住宅 ☐ 車 ☐ 教育 ☐ カード ☐ その他	2,554 万円	132 万円
	☐ 住宅 ☐ 車 ☐ 教育 ☐ カード ☐ その他	万円	万円
	☐ 住宅 ☐ 車 ☐ 教育 ☐ カード ☐ その他	万円	万円

7 必要な資金と調達方法

必要な資金		金 額	調達の仕方	金 額
設備資金	店舗、工場、機械、備品、車両など (内訳) ・パソコン・サーバー等一式 (〇〇社見積のとおり) ・事務機器 (〇〇社見積のとおり) ・備品類 (〇〇社見積のとおり) ・保証金	690 万円 500 70 20 100	自己資金 親、兄弟、知人、友人等からの借入 (内訳・返済方法) 日本政策金融公庫 国民生活事業 からの借入 元金6万円×84回(年〇.〇%) 他の金融機関等からの借入 (内訳・返済方法) 〇〇銀行 元金6万円×84回(年〇.〇%)	550 万円 500 万円 500 万円
	商品仕入、経費支払資金など (内訳) ・外注費支払 ・諸経費支払 (システム開発に、最短でも3ヵ月かかるため、つなぎ資金が必要)	860 万円 270 590		
			金額は一致します。	
合 計		1,550 万円	合 計	1,550 万円

8 事業の見通し（月平均）

		創業当初	軌道に乗った後 (〇 年 〇 月頃)	売上高、売上原価（仕入高）、経費を計算された根拠をご記入ください。
売上高	①	300 万円	390 万円	<創業当初> 人件費は、従業員数もわかるようにしてください。 ①売上高 300万円/件×1件/月＝300万円(受注契約書あり) ②原価率(外注費)30%(勤務時の経験から) ③人件費 代表者1人、役員1人、従業員1人 (代)45万円+(役)30万円+(従)25万円＝100万円 家賃20万円 支払利息(内訳)500万円×年〇.〇%÷12ヵ月＝〇万円 500万円×年〇.〇%÷12ヵ月＝〇万円 計3万円 その他光熱費、消耗品費等 15万円
	売上原価 ② (仕入高)	90 万円	117 万円	
経費	人件費 (注)	100 万円	140 万円	<軌道に乗った後> ①創業当初の1.3倍(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 従業員1人増、役員報酬・従業員給与増額 計40万円増 その他諸経費 20万円増 (注) 個人営業の場合、事業主分は含めません。
	家 賃	20 万円	20 万円	
	支 払 利 息	3 万円	3 万円	
	そ の 他	75 万円	95 万円	
合 計 ③		198 万円	258 万円	
利 益 ①－②－③		12 万円	15 万円	

ほかに参考となる資料がございましたら、計画書に添えてご提出ください。（日本政策金融公庫 国民生活事業）